

泌尿器・副腎・腎移植外科に、過去に通院・入院された患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体または通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和4年3月10日一部改正)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名] 腎細胞癌における dynamic CT から得られるパラメーターと病理学的因子との比較と予後への影響に関する後ろ向き研究

[研究の目的]

腎細胞癌診断に用いる dynamic CT の所見は腎細胞癌の血管新生能を反映しており、最近の病理学的検討では血管新生の程度が病理学的悪性度と相関し、予後に影響を与えると報告されています。dynamic CT から得られるパラメーターと病理学的因子との関連・予後への影響を後ろ向き検討することは腎癌治療に有益とされます。

[研究の方法]

対象となる患者さん

2001年1月1日から2023年4月30日の間に当院で治療を受けた腎癌の患者さん

利用する検体・診療情報

腎癌患者の dynamic CT から得られるパラメーター(各時相の CT 値、CT 値分布、腫瘍の血流量等)、腫瘍径・周囲長・面積・体積腎部分切除術の難易度を評価するための RENAL Nephrometry Score、性別、年齢、PS(Performance Status)、体重、身長、BMI、体表面積、臨床病期(cTNM)、血液データ(CRP、白血球、白血球分類、血小板、Hb、LDH、中性脂肪、コレステロール値(HDL・LDL)、血糖値、HbA1c、Na、Ca、K、Cr、eGFR、再発時の転移性腎細胞におけるリスク分類(International Metastatic Renal Cell Carcinoma Database Consortium (IMDC) リスク分類、Memorial Sloan-Kettering Cancer Center (MSKCC) リスク分類)、病理組織学的情報(組織型、病理学的病期(pTNM)、悪性度、腫瘍サイズなど)、治療法、生存期間、無病増悪期間を抽出する。

[研究組織]

香川大学医学部附属病院 泌尿器・副腎・腎移植外科 病院助教 内藤 宏仁

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 泌尿器・副腎・腎移植外科

担当医師 内藤 宏仁

電話 087-891-2202 FAX 087-891-2203